

森之宮北地区 大阪市都計審が都市計画決定

再開発を見切り発車

大阪府東部の大阪府東区森之宮地区の森之宮北地区の再開発計画が動き始めています。大阪府立大学と大阪市文学部を統合して今年4月締結する「大阪公立大学」の新キャンパスを中心に、商業施設や宿泊施設を含んだ複合開発というものです。8月の大阪市都市計画審議会、再開発にかかわる森之宮北地区の都市計画決定を可決しましたが、開発が本気で必要なのか、地元住民の理解や合意が得られているか―問題は山積みです。

住民合意など問題山積

新しい学舎は 25年度に開設

森之宮北地区約12.3公顷は、大阪環状線の大阪城公園駅の東側で、第二種用途に面した地域。廃止された大阪市のみんぱく跡の森之宮工場の跡地や、同工場を建て替える予定だった用地、中浜下水処理場などが含まれ、U・R森之宮第2団地が南に隣接しています。計画では、A、B、C、Dの4地区に分け、新キャンパスの商業施設を、府と大阪市は連年の松井府政、橋下市政時代の

を整理するA地区約2.7公顷を先行的に開発します。二重行府の解消の名で大学統合を進行して、昨年7月に新大学の法人基本構想を定めました。基本構想は、25年度に森之宮に新キャンパスを整備することをしませんが、事業費は半億円。居住機能等の集積により、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまちをつくりたい文句を掲げているが、A地区以外は半地利用の中身が、現段階では漠然としたままです。

対したのは日本共産党の山中智子議員だけでした。山中智子議員は「森之宮北地区は、大阪府立大学と大阪市文学部を統合して今年4月締結する『大阪公立大学』の新キャンパスを中心に、商業施設や宿泊施設を含んだ複合開発というものです。8月の大阪市都市計画審議会、再開発にかかわる森之宮北地区の都市計画決定を可決しましたが、開発が本気で必要なのか、地元住民の理解や合意が得られているか―問題は山積みです。」



大阪市都市計画審議会での開問する山中氏（右）25日、大阪市役所内

「大阪公立大学」の新キャンパスは、森之宮北地区の森之宮工場の跡地や、同工場を建て替える予定だった用地、中浜下水処理場などが含まれ、U・R森之宮第2団地が南に隣接しています。計画では、A、B、C、Dの4地区に分け、新キャンパスの商業施設を、府と大阪市は連年の松井府政、橋下市政時代の

訂正

9月16日7面中欄に連載「森之宮北地区の再開発」第35回の記事で、文中未の堺東区の地名「單野」は、草履の誤りでした。

「新キャンパスありき」



大阪公立大学の新しいキャンパスが整備されようとしている森之宮北地区(大阪府東区)

森ノ宮北地区周辺図



8月25日開かれた大阪の地区計画を賛成多数で、識察候補15人、大阪市議会都市計画審議会は、この可決。審議会の委員(選挙)14人ですが、開問して反

コロナ以前の計画 立ち止まるべきだ

共産・山中議員が反対

(2021年10月3日付大阪民主新報)